包括的な学校改善の視点：教育課程・学習指導

ＩＣＴを活用した授業改善学校モデル

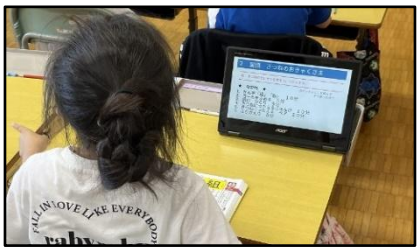
中核校	えりも町立えりも小学校	指定校	えりも町立笛舞小学校、えりも町立えりも岬小学校 えりも町立庶野小学校、えりも町立えりも中学校

■　構築した学校モデルの具体

○　学校におけるＩＣＴを活用した授業改善の目指す方向性の共有

・先進的な取組を進めている地域や学校への視察及び授業動画の視聴などを通して、学校における個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を目指す授業改善のイメージを共有する。

・研修部のリーダーシップのもと、授業におけるＩＣＴの活用方法や様式を統一し、全ての教員が同じ方向性で授業改善を推進することができるよう環境整備を行う。



【１人１台端末の活用】

○　汎用的なアプリケーションを用いた１人１台端末の効果的な活用

・児童が将来にわたってＩＣＴを活用し、自ら学ぶ力を身に付けることができるよう、導入、展開、終末の学習過程に基づいて汎用的なアプリケーションを用いた授業展開を構築する。

・導入時に、児童が本時の学びの見通しをもつことができるよう、Google スライドで授業のゴール、学習の流れ、学習評価を提示し児童と共有するとともに、展開時に自分の考えを深めるため他者参照を行うなど、学習のねらいに基づいた活用をすることができる環境を構築する。

【公開研究会における実践の共有】

・終末時に、児童が学びを振り返ることができるよう、Google スプレッドシートを活用した振り返りを行うとともに、時間を確保し、児童が他者の学びを共有することができるようにする。

○　積極的な授業公開の実施と教員のＩＣＴ活用

・年間で一人３回の授業公開を実施し、互いに参観し合うことで方向性を確認するとともに、参観する教員が Google チャットを活用し、リアルタイムで意見交換をするなど、その場で児童の学びの姿に基づいた協議を行う。

【学校ＤＸ戦略アドバイザーの招聘】

■　学校モデルの構築に向けた取組の具体

〔管理職の取組〕

・管外において先進的にＩＣＴを活用している小学校に全教員で視察に行く体制をつくるなど、道内外の先進校の実践を学ぶ機会を設けるとともに、主体的な研究大会への参加や学校の視察を推奨した。

・学校ＤＸ戦略アドバイザーを招聘し、授業を参観していただくとともに、町や学校全体のＩＣＴの活用について指導助言をいただく機会を設定した。

〔教諭の取組〕

・教員間で日常的に授業参観を行い、授業改善の状況を互いに確認するとともに、具体的な授業改善につなぐため、自らの課題に基づいた授業参観のポイントを明確にし、事前に周知した。

・冬季休業中に全教員が今年度の授業実践の成果や課題をプレゼンテーション資料にまとめ、３学期に発表会を設定することにより、主体的な授業改善を行うとともに、成果と課題の整理を行った。

■　各指定校への学校モデルの普及方策

・公開研究会を開催し、えりも小学校の授業改善の取組を他校が参観するとともに、端末を活用した他者参照を、参加した教員が実際に体験することができるよう工夫しながら研究協議を行った。

・学校ＤＸ戦略アドバイザーの講演会への参加を町内各校に呼びかけ、ＩＣＴを活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実について学ぶ機会を設定した。